

<p style="text-align: center;">タイトルは、子どもが何を実現しようとしている事例なのかを端的に表現</p>		
<p style="text-align: center;">文章には句読点をうち、読点は「,(カンマ)」を使用</p>		
<p style="text-align: center;">平成26年6月27日 3年保育5歳児 ザリガニの飼育ケースを直そう 神戸大学附属幼稚園(松本 法尊)</p>		
事実	解釈 ◎教師の意図	メモ
<p>「」：発言 （）：行動・表情・しぐさ・視線 カッコなし：状況や状態、取り巻く環境、 本事例以前の経過や経緯</p> <p>カッコなしの文のみ、上下1行ずつ改行し、書き出しや2行目以降の先頭を左詰めにする。</p> <p>経過や経緯、取り巻く環境について書く場合は、できる限りこの事例に必要だと判断する情報のみに留める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの事実からとらえた子どもの内面 <p>◎教師の思いや意図</p> <p>幼児期の終わりまでに育ってほしい姿10項目、46の具体的な姿との関連を意識して書く。 (本事例においては、本校園の導き出した資質・能力との関連を意識して書いている。)</p>	
<p>4月当初より、クラスの保育室で飼っているザリガニを、日替わりで、5人のグループで世話をしている。</p> <p>D(ザリガニの飼育ケースに水を入れると下から水が出るのを見る。)</p>	<p>解釈を書く際に意識した、関連が深い幼児期の終わりまでに育ってほしい姿10項目、46の具体的な姿を、項目名・番号で示す。(例:自立心②) (本事例においては、本校園の導き出した資質・能力との関連を示している。○社会的資質・能力、□固有的資質・能力、☆汎用的資質・能力) 加えて、必要な場合には、事実や解釈を書く際に考えたことをメモする。</p> <p>事実とセットとなる解釈ごとに罫線で区切り、罫線は非表示。 (ここでは区切っていることが分かりやすいように表示している。) 複数日にわたる場合、日が変わる行の罫線を破線(黒)で表示</p>	
<p>「あつ。」(飼育ケースの下の水が出ていている部分にしばらく目をやる。)</p> <p>教師「わあ。」(飼育ケースを水の上から見る。)</p> <p>D(教師に目をやり、飼育ケースを上から見る。) 「ちょっと割れてる。」</p> <p>AKS「え? どこどこ?」(上から飼育ケースの各所に目をやる。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 飼育ケースから水が漏れていることを感じた。下から見たのでは原因が分からなかった。 <p>◎Dが、上から見ることで水が漏れる原因に気付けるように、モデルとなった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教師の姿から上から見ようと考え、見たことで飼育ケースが割れていることに気付いた。 割れた箇所が分かっていない。 	<p>☆問題を認識する</p> <p>☆問題を認識する</p>
<p>誰の事実かが分かるように、書き手がイメージしやすいアルファベットを全角で。複数の際はアルファベット順に表記。異学年は「5歳〇」「4歳〇」と表記。 教師の事実には「T」などではなく、「教師」と表記し、複数の際は「教師①」「教師②」と表記</p>		<p>解釈ではあるが、「～ようだ」「～だろう」と表記せず、言いきりで表記</p>
<p>教師「どうして割れてるって分かったの?」</p> <p>D「ほらここがふわふわしてる。」(水が変化して て一点を指さす。)</p> <p>2行以上にわたる場合は、ぶら下げ インデントを全角1文字分右へ</p>	<p>◎AKSが見るポイントに気付けるように、Dの気付きを広めるきっかけを与えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 水の動きから水漏れ箇所を見付けられた。 割れている箇所を水の動きから伝えようと、水の動きを、擬態語で表した。 	<p>□現象</p> <p>☆問題を認識する</p> <p>□言い方・伝え方</p>
<p>AKS「ほんまや。」(水が変化している一点を見る。)</p> <p>K「割れて取れたんや。」</p> <p>A「水が減ってる。」</p> <p>S(Aの言葉を聞く。)「ザリガニ死んじゃうよ。」</p> <p>ADKS(飼育ケースを洗うスポンジで穴を押さえる。離すと水が出てくるのを見る。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> Dに教えてもらったことで、水の動きから水漏れ箇所を把握できた。 穴が開き、水が漏れていることから、飼育ケースが割れて破片が取れたと予想した。 水が減っていることと、ザリガニには水が必要で普段から入れ替えていることから、大切に育てているザリガニが死んでしまうと予想し、心配した。 ザリガニを助けるために、水を止めなければならないと考え、その方法を考え、実行した。 	<p>☆推論する</p> <p>□生き物・いのち</p> <p>☆推論する</p> <p>☆豊かに発想し、追求の手立てを構想する</p>
	<p>状況が伝わる写真があれば 事実の欄に</p>	

A「どうしよ？」	<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に考えようと思い、問い合わせた。 ・スポンジで水を止めようとしたが、スポンジを離すと水が出てきていることから、水を止められていないと考えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○人とものごとをすすめる ☆実行し、その結果をもとに判断を下す
K「新しいのにする？」	<ul style="list-style-type: none"> ・水漏れをどう解消しようかと考え、飼育ケースを新しくする方法を思い付き、その考えを提案し、友達はどう思うか尋ねた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○人とものごとをすすめる ☆豊かに発想し、追求の手立てを構想する
S「テープで貼つたら？」	<ul style="list-style-type: none"> ・水漏れをどう解消しようかと考え、テープで貼つて穴を塞ぐ方法を思い付き、その考えを提案し、友達はどう思うか尋ねた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○人とものごとをすすめる ☆豊かに発想し、追求の手立てを構想する
K「とれたのくっつけたらいいんじゃない？」	<ul style="list-style-type: none"> ・Sの考えを聞いて、飼育ケースを修理することに考えを変えた。 ・飼育ケースをどう修理するとよいか考え、破片をつける方法を思い付き、その考えを提案し、友達はどう思うか尋ねた。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆再構成する
A「そうしよう。」	<ul style="list-style-type: none"> ・Kの考えが水漏れを止めるにはよい方法だと考え、賛成した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○人とものごとをすすめる ☆豊かに発想し、追求の手立てを構想する
学びをとらえたタイミングに表記。誰の学びかを丸カッコ内に。 塗りつぶし設定(白、背景1、黒+基本色25%)		
学び(AKS)	友達と一緒に大切に育てているザリガニを救おうと、飼育ケースから漏れる水を止めるために考えを伝え合いながら、その方法を一緒に考えたり、決めたりする。	○人とものごとをすすめる
ADKS(地面に顔を近付けて飼育ケースの破片を探す。)	<ul style="list-style-type: none"> ・D SもKの考えに同意した。 	以下、本来の書式
T(ADKSの様子を見る。)	<ul style="list-style-type: none"> ・ADKSの探している様子を気にかけている。 	
K「ないー。」		□生き物・いのち ☆推論する
T「水減ってるよ。」		○人とものごとをすすめる
A「ザリガニ苦しいんじゃない？」		☆実行し、その結果をもとに判断を下す
S「やっぱりテープで貼ろうよ。」		□道具
(布ガムテープ[以下テープ]を取って来てちぎる。)		○人と協力・共同する
K「はい。」(飼育ケースを持ち上げ、水が出る穴を指で押さえる。)		
A「貼りにくいや。」(しゃがんで飼育ケースの下部にある穴を見て、外側から穴の上にテープを貼る。)	<ul style="list-style-type: none"> ・水が減っていることとザリガニには水が必要で普段から入れ替えていていることから大切に育てているザリガニが苦しい思いをしているのではないかと考えた。 ・友達と一緒に水漏れを解消しようとしている意識があり、今まででは上手くいかないと思い、自分の考えた方法を友達がどう思うか再度提案した。 ・破片を探して貼り付ける方法を行おうとしたが、破片が見つからないことから、改めてテープで塞ぐという自分の考えが適当なのではないかと考えた。 ・飼育ケースの割れを直して水を止めるには強く貼りつく布ガムテープが適しているのではないかと考えた。 ・Aがテープを貼れるように自分ができることを考えた。 ・貼りにくしながらも穴を塞げるようと考えた。 	
		
ADKST(水面や貼ったテープを見る。)		
D「まだ出てる。」		
A「どこ？」		
D(テープの端から滴ができているのを指さす。)「ほら丸くなってる。」	<ul style="list-style-type: none"> ・滴が出てきているところを見付けた。 ・滴が出てきていることから、水は止められていないと判断した。 <p>・Dは始めの水漏れに気付いた時から水の動きに着目しており、水漏れを探るには水の動きに注目することがポイントであることに気付いている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ☆問題を認識する ☆実行し、その結果をもとに判断を下す □現象